

2019年3月期第2四半期 決算説明資料

2018.10.31

TIS株式会社



2019年3月期第2四半期（累計） 業績概要

2019年3月期 業績見通し

中期経営計画（2018-2020）の進捗状況

参考資料

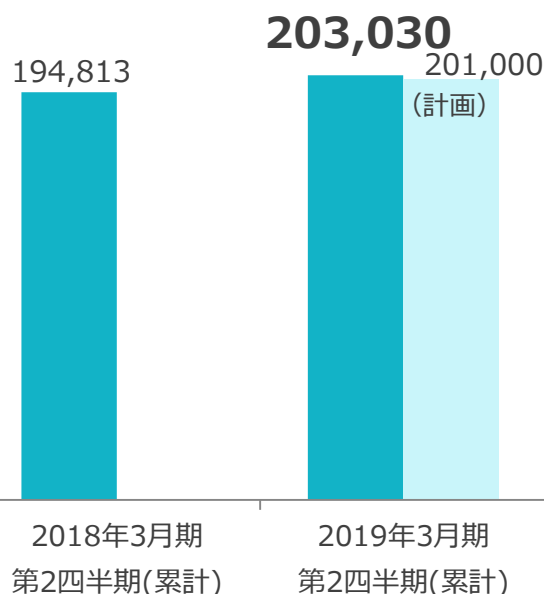
2019年3月期第2四半期（累計） 業績ハイライト

（単位：百万円）

・良好な事業環境を背景に、事業拡大や収益向上の取組み等により、前年同期比増収増益。計画過達で着地。

売上高

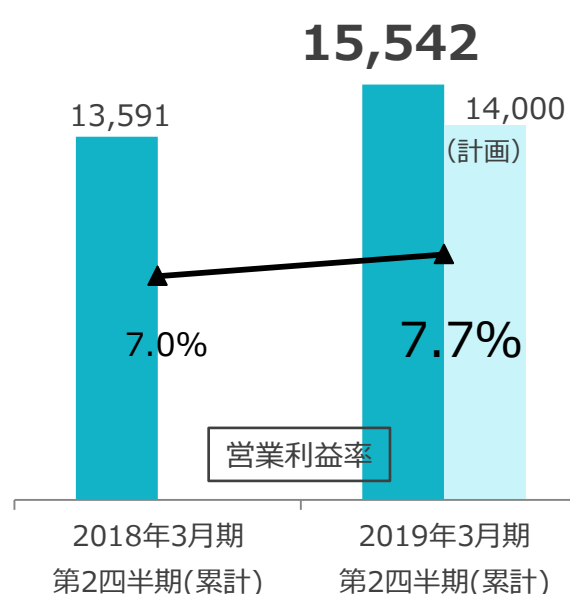
- 前年同期比+8,216百万円（+4.2%）
- 計画比 +2,030百万円（+1.0%）



IT投資動向が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前年同期比増収。計画過達。

営業利益

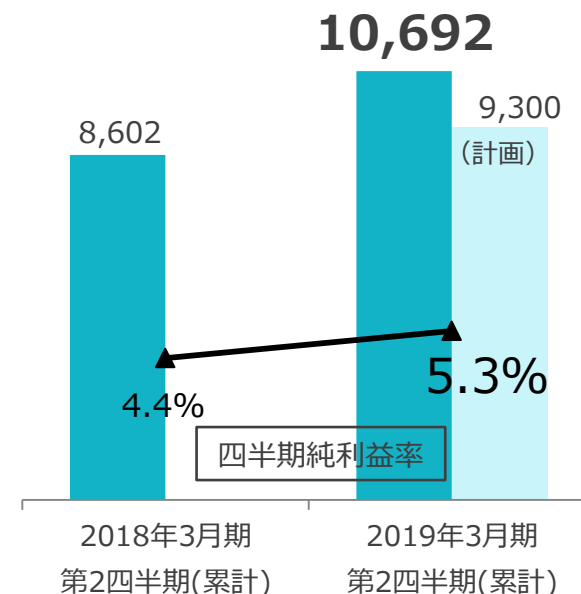
- 前年同期比+1,951百万円（+14.4%）
- 計画比 +1,542百万円（+11.0%）



増収効果や収益性向上による売上総利益の増加が、構造転換に向けた対応強化に伴う販管費の増加を吸収し、前年同期比増益。計画過達。

親会社株主に帰属する 四半期純利益

- 前年同期比+2,089百万円（+24.3%）
- 計画比 +1,392百万円（+15.0%）



営業利益の増加及び特別損益の改善に伴い、前年同期比増益。計画過達。

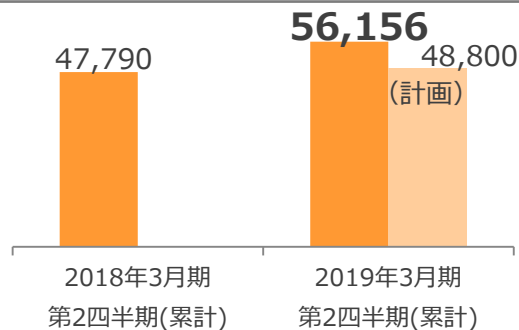
2019年3月期第2四半期（累計） 主要セグメント別損益状況①

（単位：百万円）

サービスIT

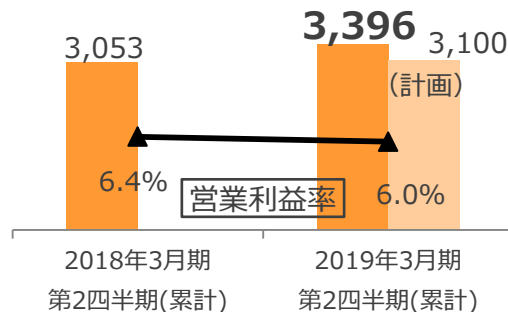
売上高

- 前年同期比+8,365百万円（+17.5%）
- 計画比 +7,356百万円（+15.1%）



営業利益

- 前年同期比+343百万円（+11.3%）
- 計画比 +296百万円（+9.5%）

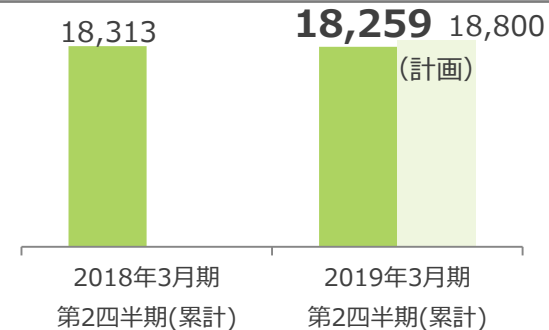


決済関連ビジネスの拡大やERP更新需要の強まり等が、事業強化のための先行投資費用増等を吸収し、前年同期比増収増益。計画過達。

BPO

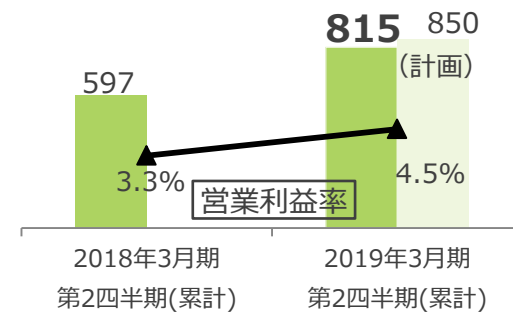
売上高

- 前年同期比 ▲53百万円（▲0.3%）
- 計画比 ▲541百万円（▲2.9%）



営業利益

- 前年同期比+217百万円（+36.3%）
- 計画比 ▲35百万円（▲4.1%）



売上高は堅調な事業環境を受けて安定的に推移。営業利益は、取引採算性の見直し等の取り組みを強化し、前年同期比増益。概ね計画線に着地。

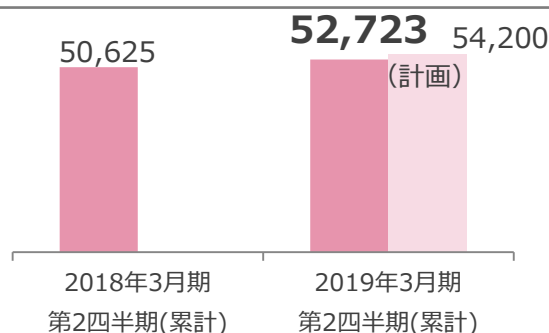
2019年3月期第2四半期（累計） 主要セグメント別損益状況②

（単位：百万円）

金融IT

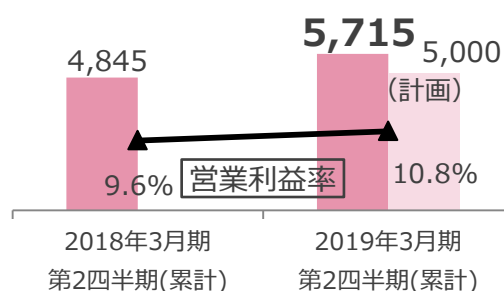
売上高

- 前年同期比+2,097百万円（+4.1%）
- 計画比 ▲1,477百万円（▲2.7%）



営業利益

- 前年同期比+870百万円（+18.0%）
- 計画比 +715百万円（+14.3%）

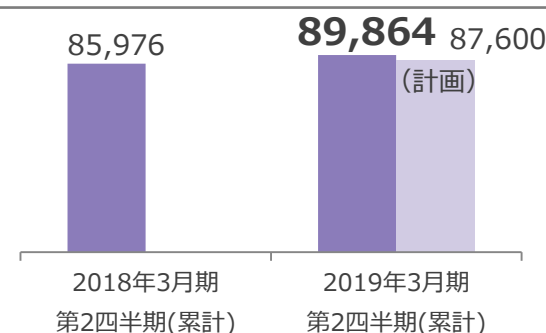


クレジットカード系における大型案件の寄与及び根幹先顧客におけるIT投資拡大の動きが牽引し、前年同期比増収増益。売上高の計画未達はサービスITへの戦略的要員配置の加速によるもの。

産業IT

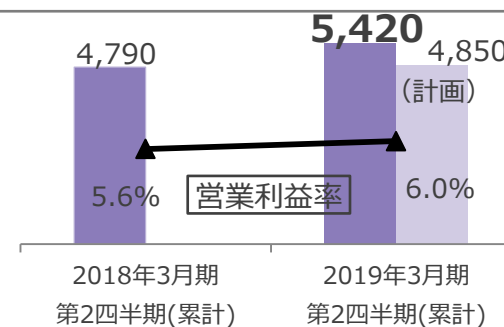
売上高

- 前年同期比+3,887百万円（+4.5%）
- 計画比 +2,264百万円（+2.6%）



営業利益

- 前年同期比+629百万円（+13.1%）
- 計画比 +570百万円（+11.8%）



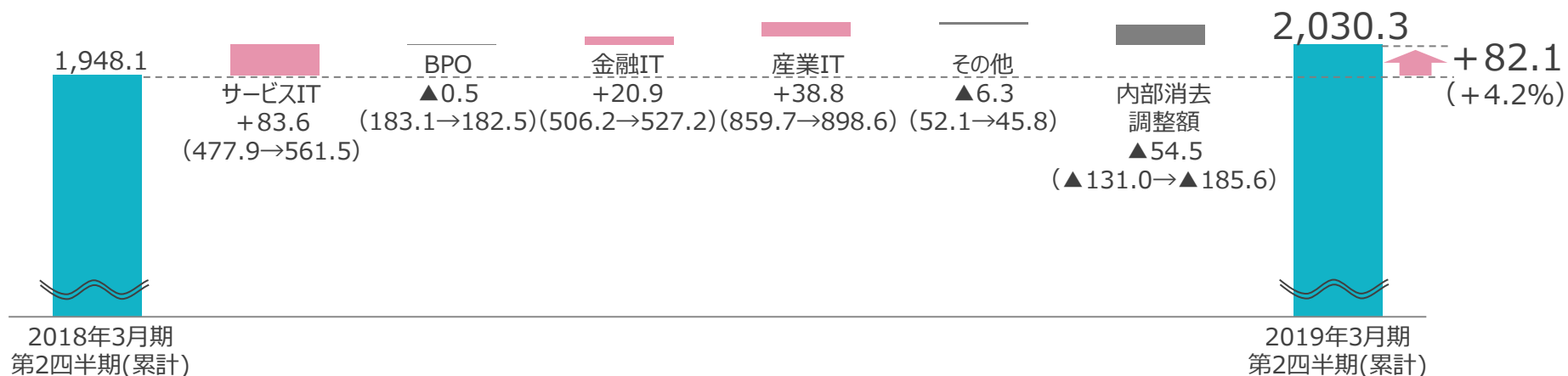
エネルギー系をはじめとして幅広い顧客のIT投資拡大の動き等により、前年同期比増収増益。計画過達。

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

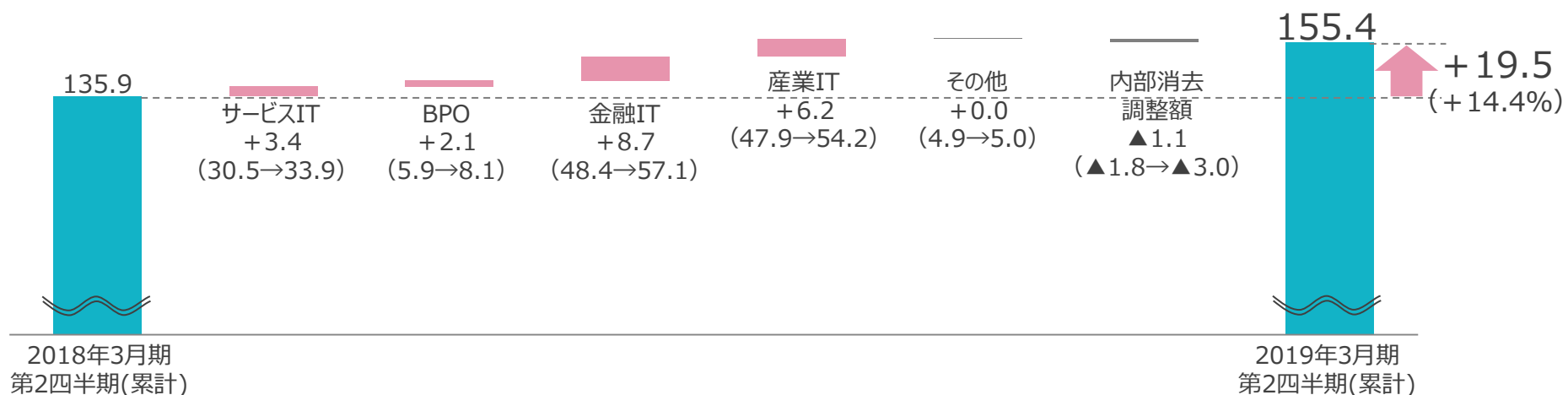
2019年3月期第2四半期（累計） 売上高・営業利益増減分析

（単位：億円）

売上高



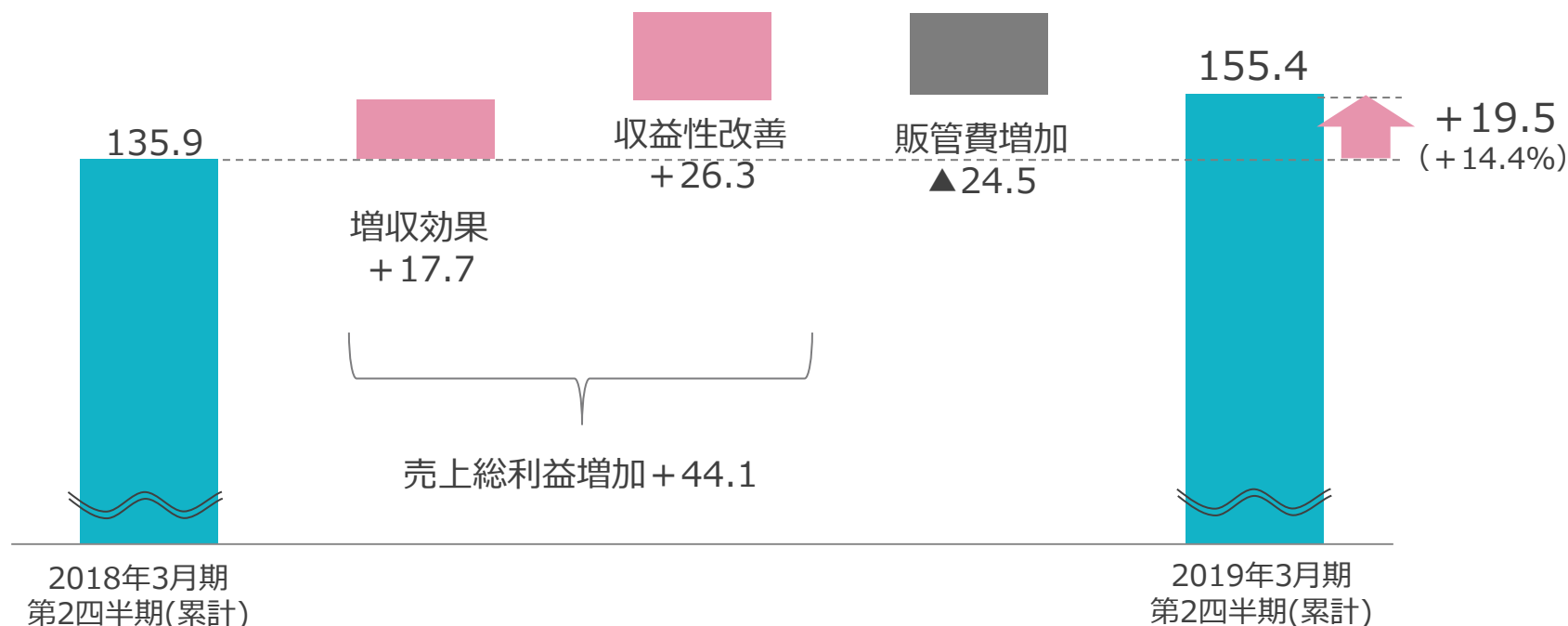
営業利益



2019年3月期第2四半期（累計） 営業利益要因別増減分析

（単位：億円）

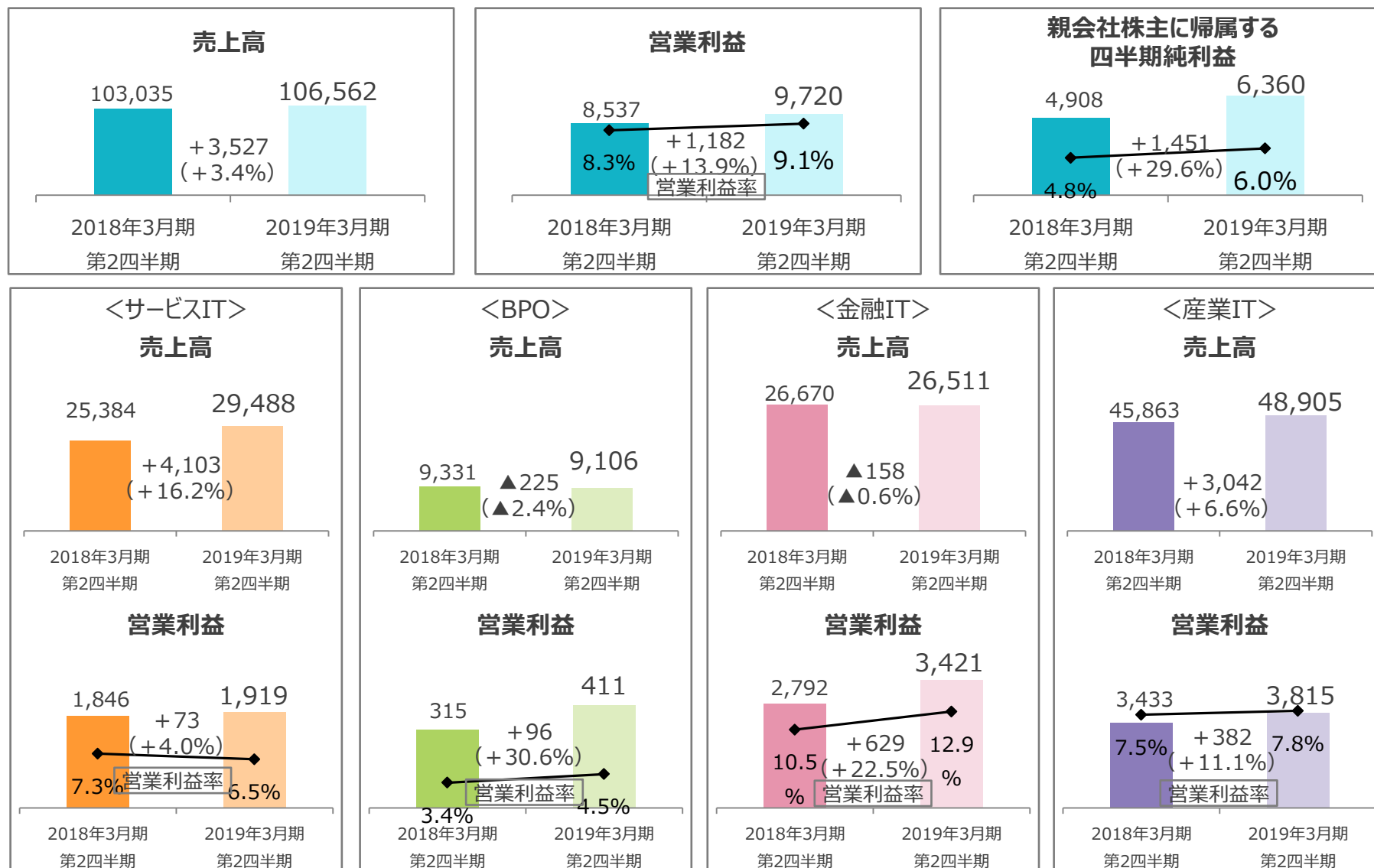
前年同期比



(参考)

2019年3月期第2四半期 業績ハイライト・主要セグメント別損益

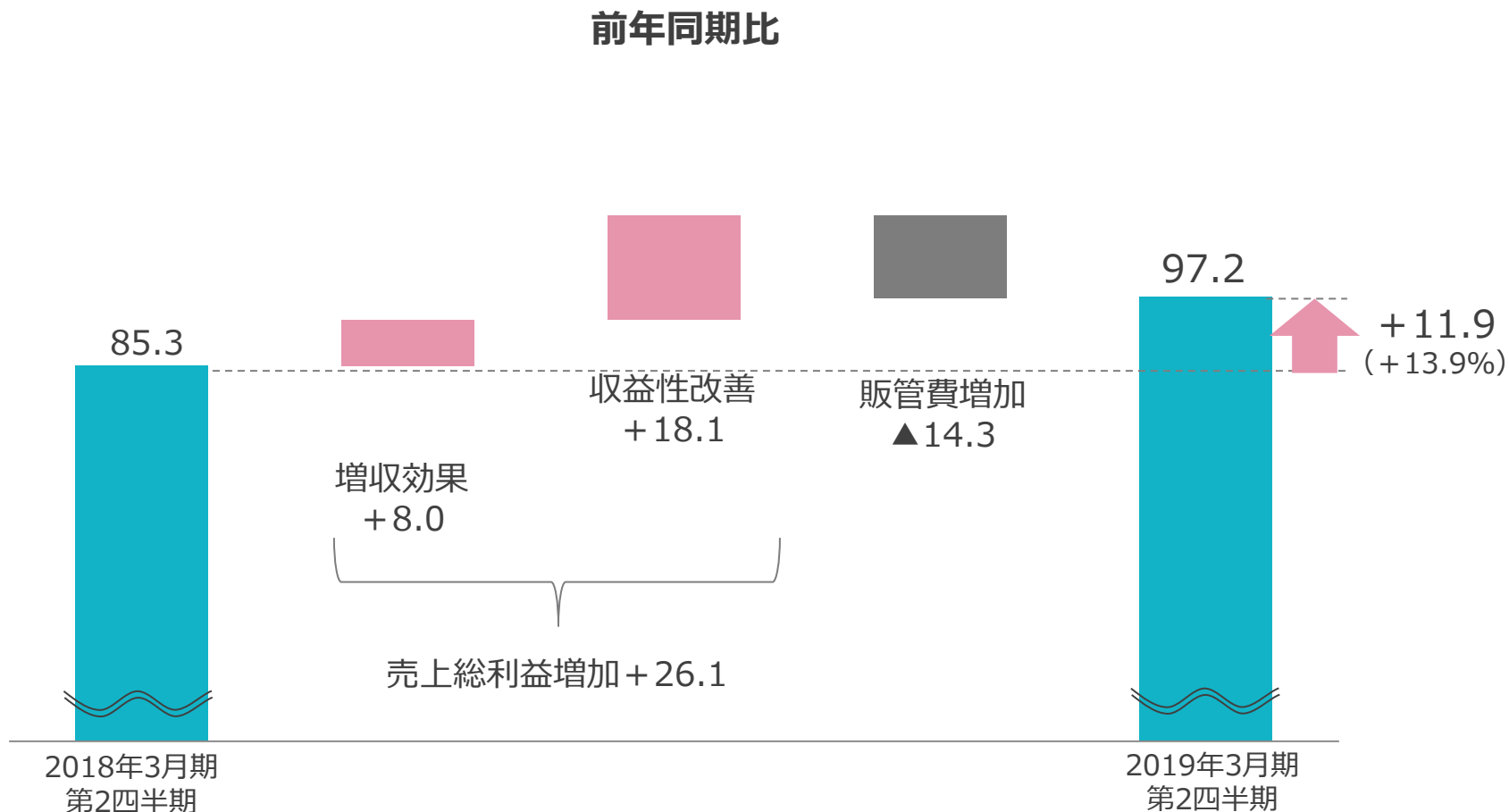
(単位：百万円)



(参考)

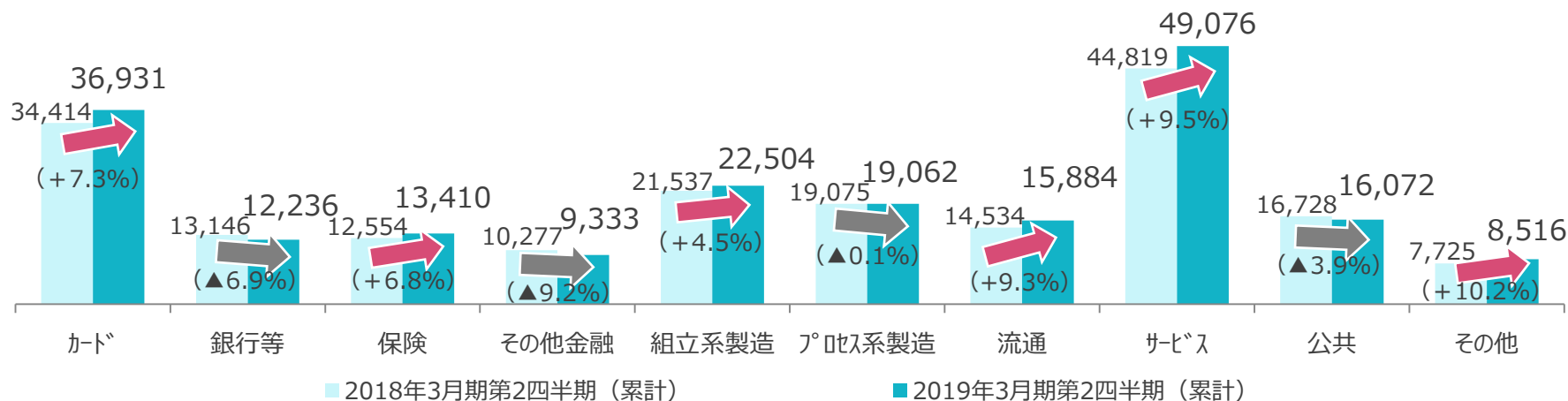
2019年3月期第2四半期 営業利益要因別増減分析

(単位：億円)

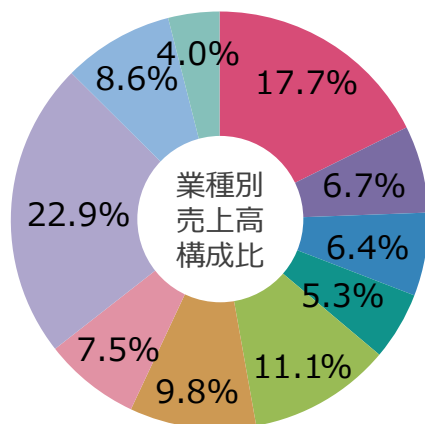


2019年3月期第2四半期（累計） 顧客業種別売上高

（単位：百万円）

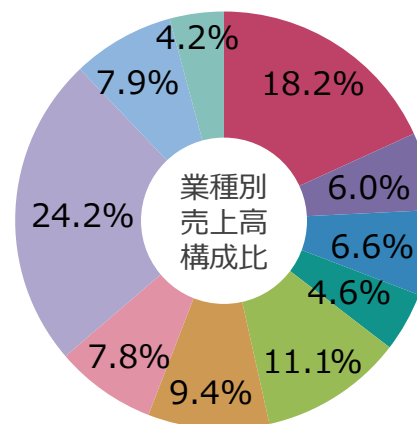


<2018年3月期第2四半期(累計)>



金融分野：36.1% 産業分野：51.3%
公共分野：8.6% その他：4.0%

<2019年3月期第2四半期(累計)>



金融分野：35.4% 産業分野：52.5%
公共分野：7.9% その他：4.2%

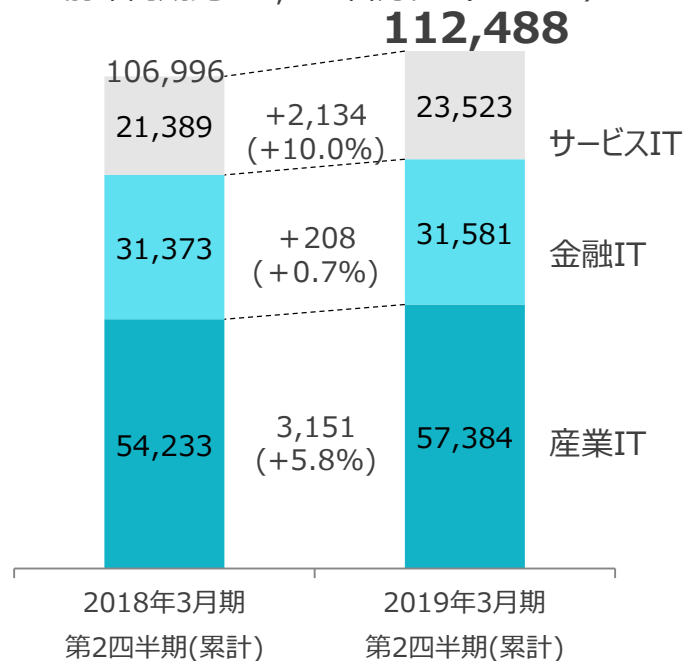
2019年3月期第2四半期（累計） 受注状況（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）

・金融ITにおける大型案件反動減等を吸収し、当期受注高、期末受注残高とも前年同期比増加。
（第2四半期の力強い動きにより、第1四半期の前年同期比減少を吸収。）

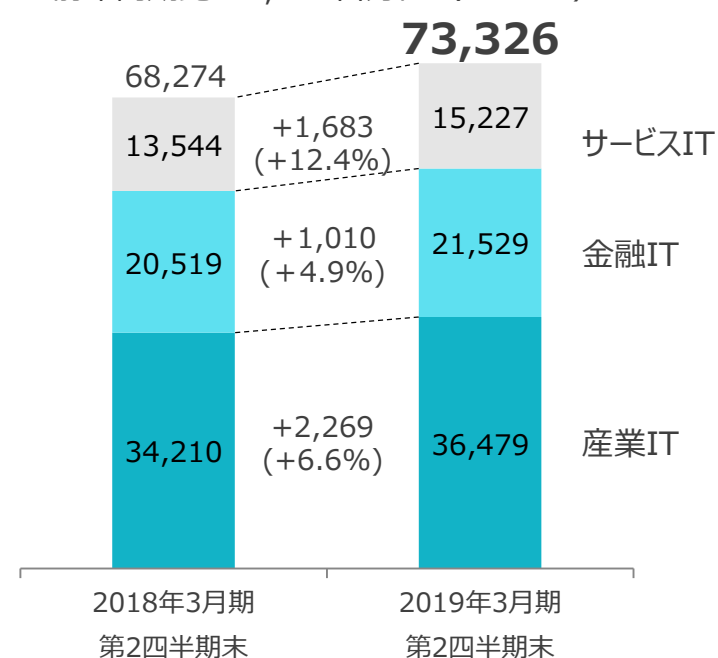
受注高

- 前年同期比 + 5,492百万円（+5.1%）



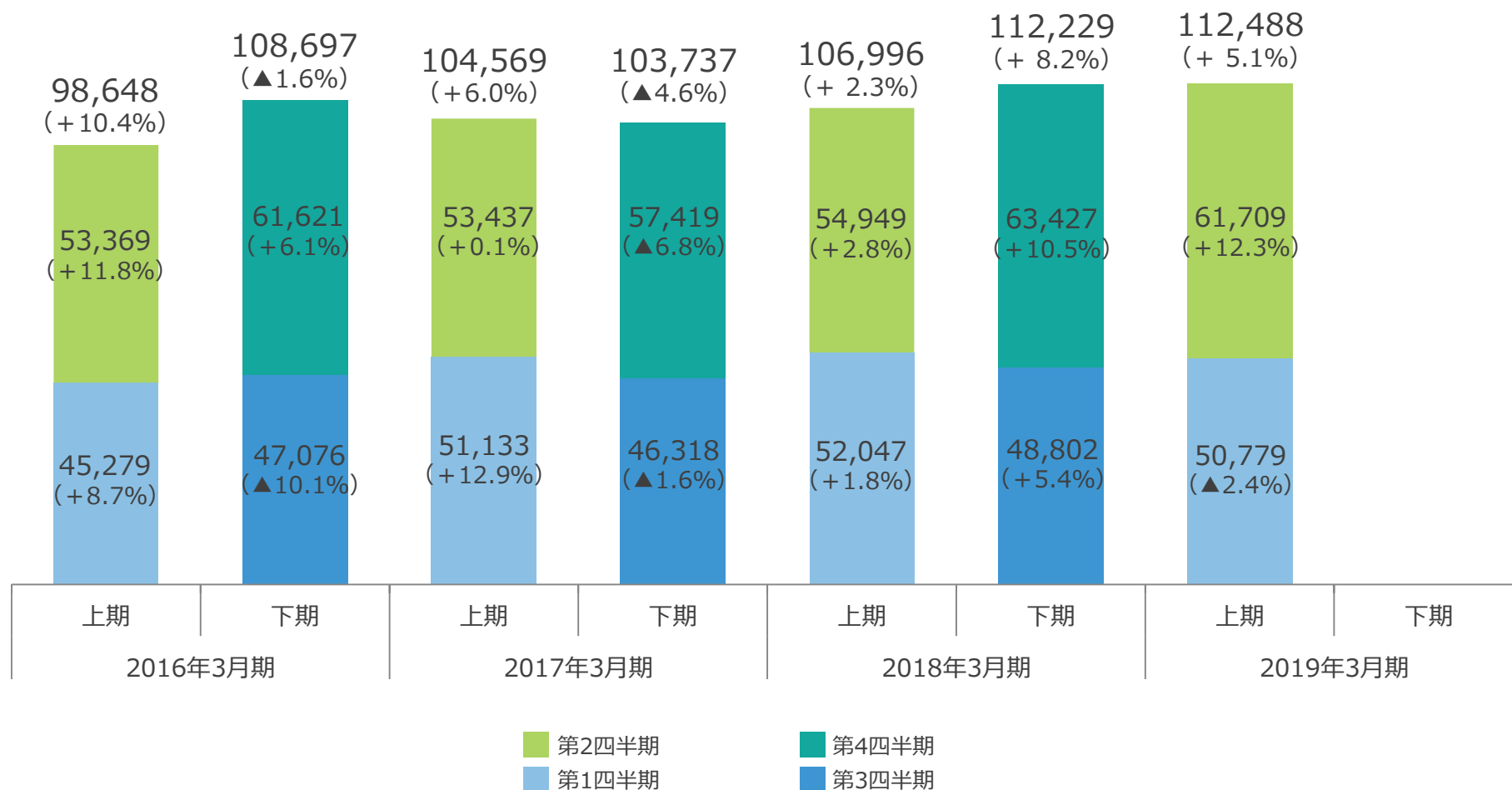
期末受注残高

- 前年同期比 + 4,962百万円（+7.3%）



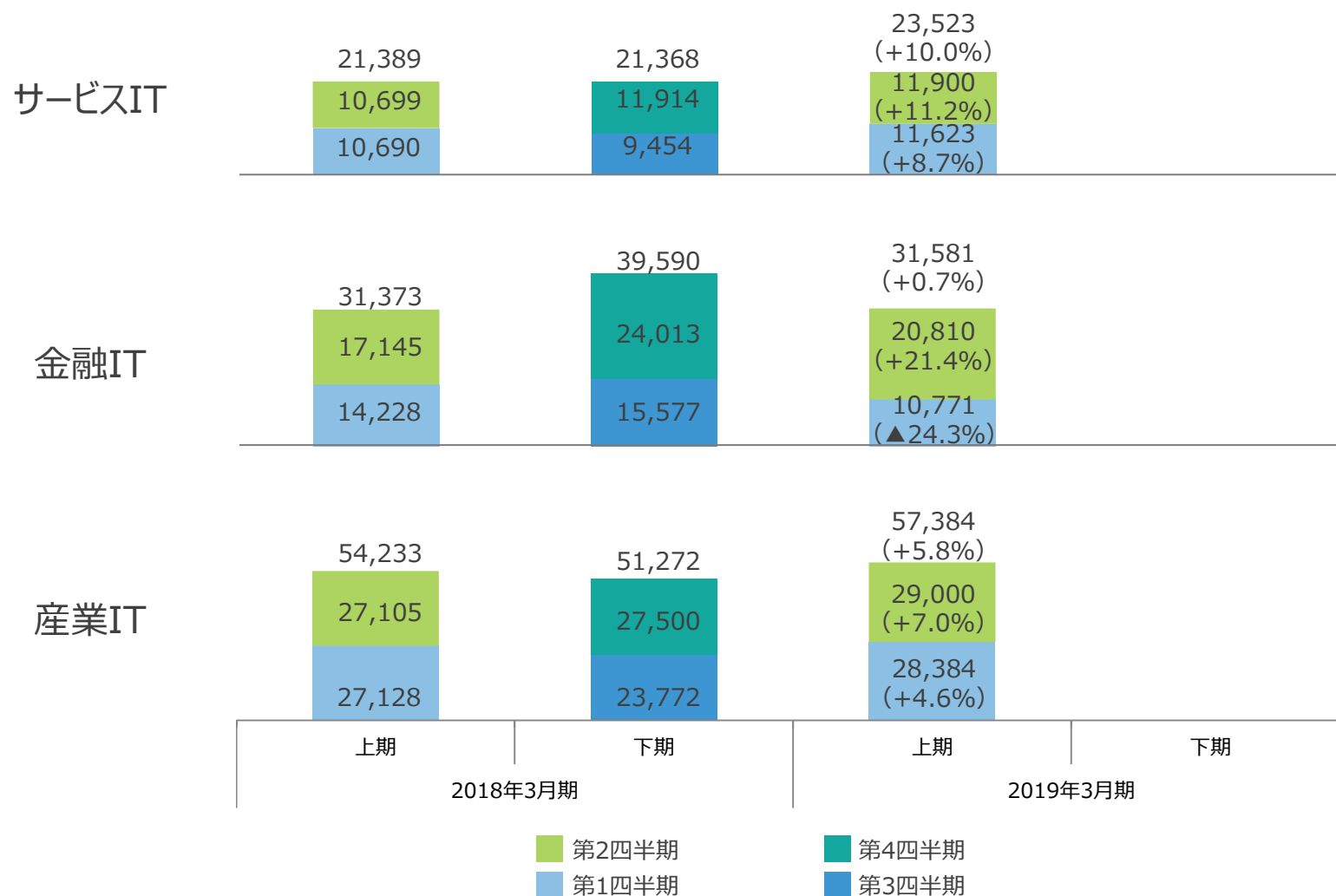
受注高の推移（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）



受注高の推移（ソフトウェア開発，セグメント別）

（単位：百万円）



2019年3月期第2四半期（累計） 受注状況（全体）

（単位：百万円）

・新たに運用等に関わる受注情報の開示を開始。第2四半期末の受注残高（全体）は積み上がっており受注状況は好調。金融ITの2018年3月期末比減少は、販売関連案件の減少によるもの。

■ 受注高（全体）

	2019年3月期 第2四半期 (累計)
サービスIT	57,320
BPO	16,801
金融IT	50,218
産業IT	84,985
合計	209,326

■ 受注残高（全体）

	2018年3月期末	2019年3月期 第2四半期末	対増減率
サービスIT	30,693	38,257	+24.6%
BPO	—	—	—
金融IT	39,254	36,885	▲6.0%
産業IT	52,120	55,447	+6.4%
合計	122,067	130,591	+7.0%

<運用等に関する受注情報の考え方>

- 2019年3月期より、運用等に関わる受注情報の開示を開始（半期毎に開示）
 - ⇒ 受注残高：2018年3月期末～
 - 受注高：2019年3月期第2四半期～
- 継続性の高い契約（運用等）については契約期間に関わらず、2Q末及び4Q末に洗い替えを実施。
 - ⇒ 翌半期の売上高見込みを、当期の受注高と見做し当期末に計上（受注残高にも同額を計上）。
- BPOについては取引形態等を考慮して受注残高はゼロとして取り扱う。

2019年3月期第2四半期（累計） 業績概要

2019年3月期 業績見通し

中期経営計画（2018-2020）の進捗状況

参考資料

外部環境の認識

- ・デジタル経営への志向を強める顧客のIT投資ニーズ拡大等を背景とし、事業環境は引き続き堅調に推移すると期待。
- ・産業構造の変化や働き方改革といった社会課題など、外部環境の変化を敏感に汲み取り、社会課題の解決をリードする企業に変革していくことが、ビジネスの成長に不可欠と認識。

サービスIT

- ✓ クラウドサービスの利用拡大の流れが継続。2020年にはクラウド調達が過半にも。
- ✓ 国内セキュリティ市場は2020年まで高成長継続、重要な経営課題化。
- ✓ 決済ビジネスの構造変化により幅広い業種でIT投資は高水準を継続。

BPO

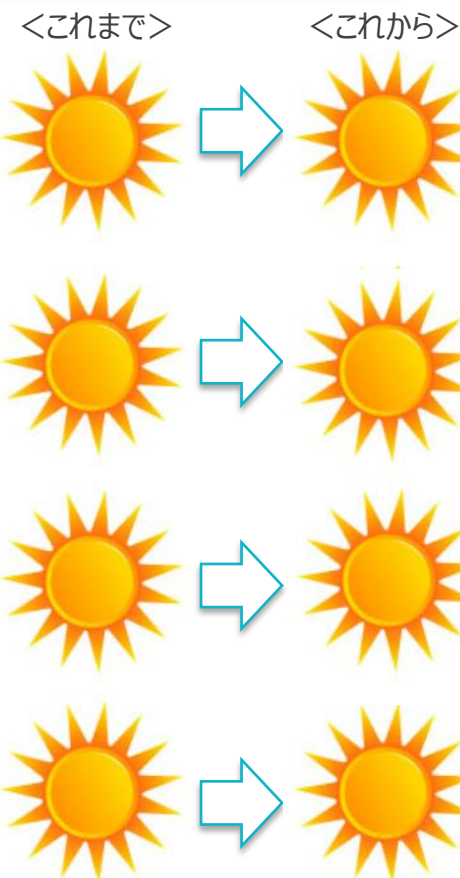
- ✓ BPO事業は企業経営の改善に資する業務アウトソーシングビジネス需要が引き続き拡大基調。
- ✓ 長期化する人材不足、働き方改革推進による環境変化によるデジタルイノベーションニーズの拡大。

金融IT

- ✓ クレジットカードでは基幹システムの更新需要、決済ビジネスの構造変化への対応等、IT投資は引き続き高水準。
- ✓ 銀行・保険は景況感不透明も、業界大手中心に、ビジネスやサービスの革新を進めるためのIT投資は回復傾向。

産業IT

- ✓ 製造・サービス・流通では、マーケティング関連分野等、競争力強化を目的としたフロント系のIT投資拡大が継続。
- ✓ 電力・ガスシステム改革のIT投資は、分社化関連案件等で需要が増加基調に。



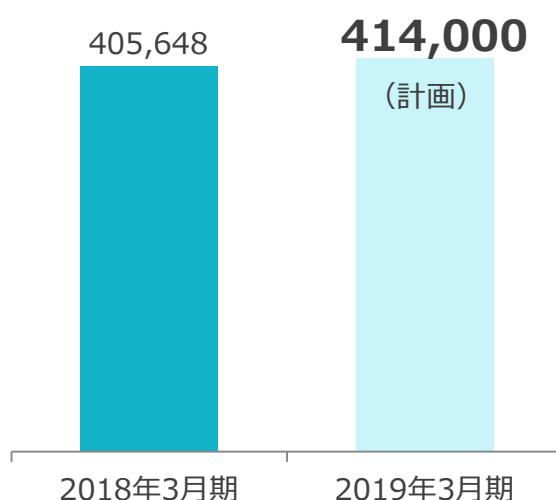
2019年3月期 業績予想ハイライト①

(単位：百万円)

- ・堅調な事業環境の中、大型案件の反動減を吸収し、増収増益を目指す。
- ・新中期経営計画で掲げる構造転換を推進するため、成長・得意領域へ積極的な投資を実行。
⇒期初計画値の変更はなし。

売上高

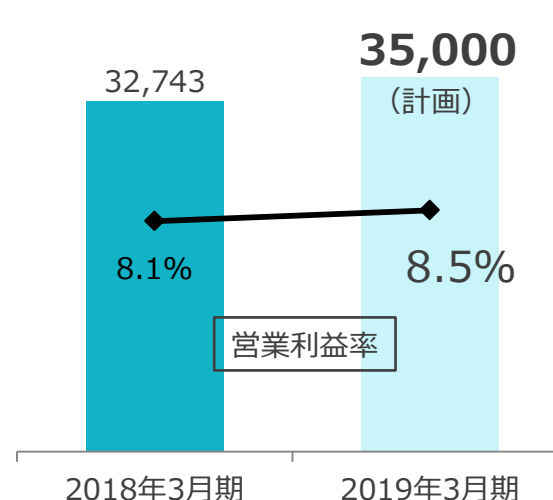
- 前期比+8,352百万円 (+2.1%)



サービスIT及び産業ITを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、前期比増収を見込む。

営業利益

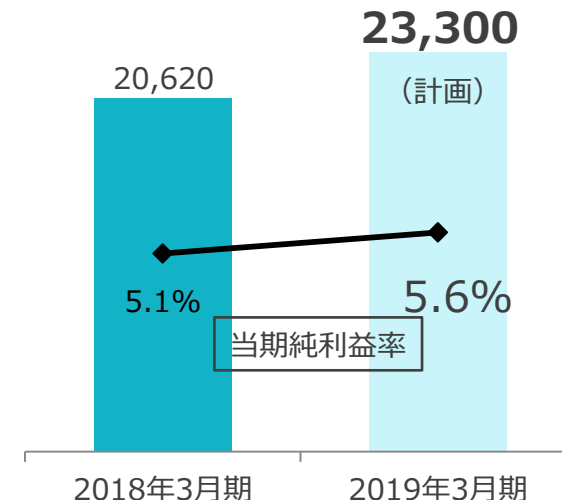
- 前期比+2,257百万円 (+6.9%)



増収効果、生産性向上等を継続推進。先行投資型へのシフト等、構造転換に向けた投資等のコスト負担増を吸収し、前期比増益を見込む。

親会社株主に帰属する当期純利益

- 前期比+2,680百万円 (+13.0%)



営業利益の増加や、特別損益の改善に伴い、前期比増益を見込む。

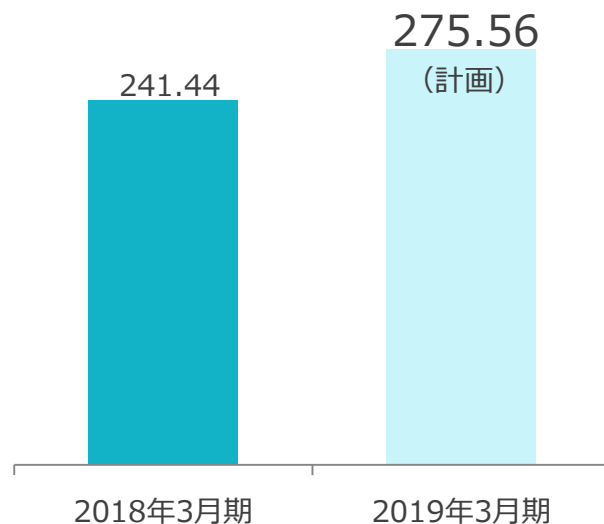
2019年3月期 業績予想ハイライト②

(単位：円)

・ROEは、初の10%超達成を目指す。

一株当たり当期純利益

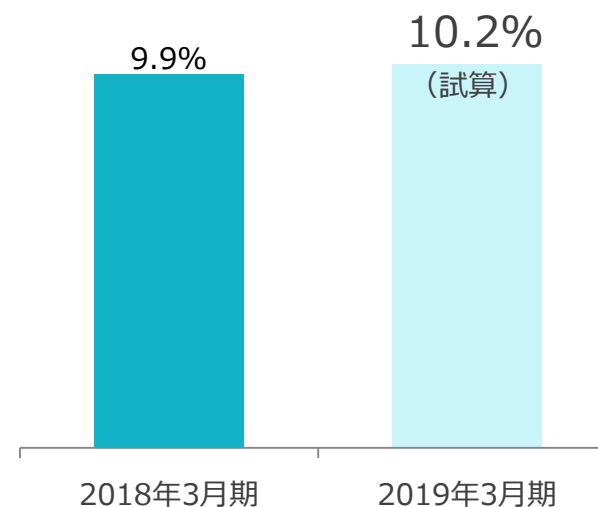
● 前期比 +34.12円 (+14.1%)



親会社株主に帰属する当期純利益の増加に伴い、
前期比向上を見込む。
(自己株式の取得に伴い、期初予想値から引き上げ)

自己資本当期純利益率 (ROE)

● 前期比 +0.3%



主として収益性向上により、さらなる向上を見込む。

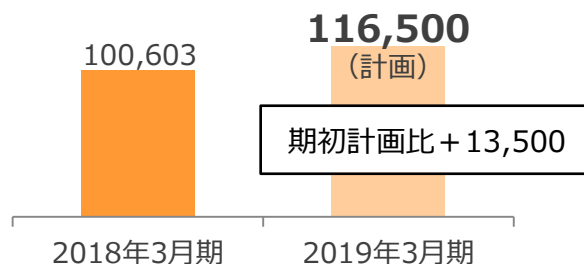
2019年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）①

（単位：百万円）

サービスIT

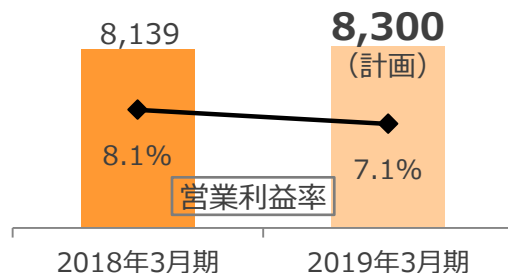
売上高

● 前期比+15,897百万円（+15.8%）



営業利益

● 前期比+161百万円（+2.0%）

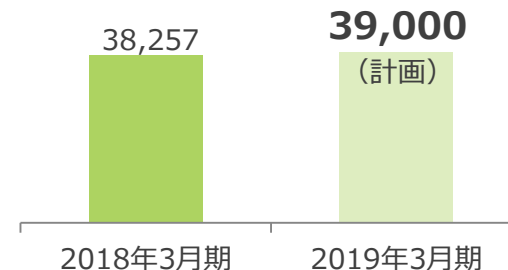


クラウド・ネットワーク等成長分野でのIT投資の取込みや、決済ビジネス、ERP需要拡大の確実な取込みが先行投資コスト負担を吸収し、前期比増収増益を見込む。戦略的要員配置の加速を受け計画値引き上げ。

BPO

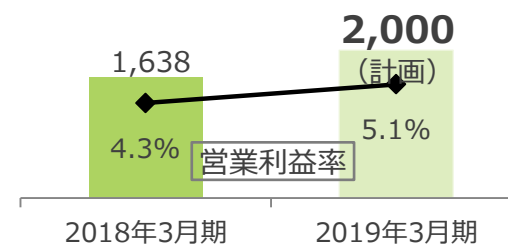
売上高

● 前期比+743百万円（+1.9%）



営業利益

● 前期比+362百万円（+22.1%）



BPO事業拠点集約や採算管理徹底による構造改革、高度化した複合型BPO事業へのシフトにより利益率を改善させ、前期比増収増益を見込む。

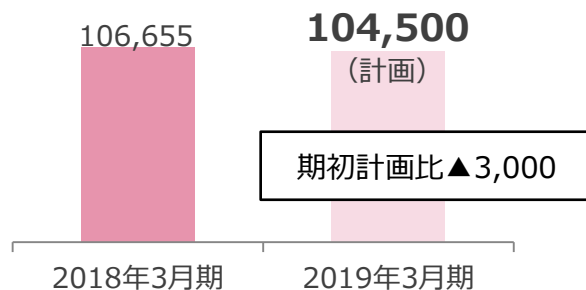
2019年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）②

（単位：百万円）

金融IT

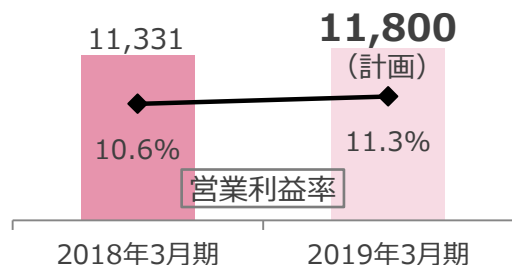
売上高

● 前期比▲2,155百万円（▲2.0%）



営業利益

● 前期比+469百万円（+4.1%）

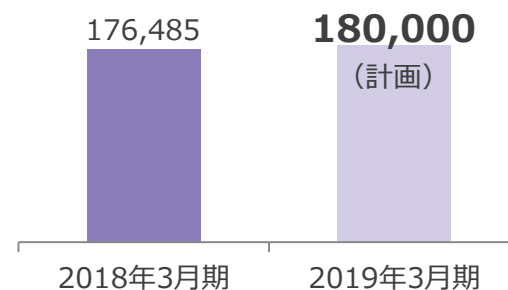


大型案件の着実な遂行、根幹顧客との関係強化を推進するもサービスITへの戦略的要員配置に伴い計画値引き下げ。前期比減収も高付加価値ビジネスの推進、生産性改善等により前期比増益を見込む。

産業IT

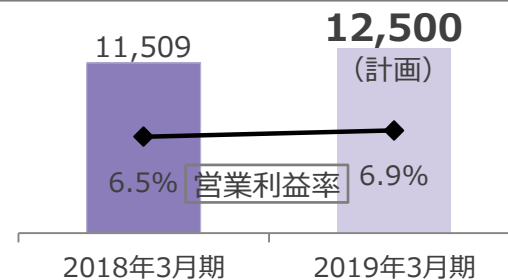
売上高

● 前期比+3,515百万円（+2.0%）



営業利益

● 前期比+991百万円（+8.6%）



コンサル・上流ビジネス強化による高付加価値ビジネスの推進、生産性改善の取組等により、大型案件の反動減を吸収し、前期比増収増益を見込む。

2019年3月期 株主還元

中期経営計画（2018-2020）における株主還元の基本方針等

成長投資の推進・財務健全性の確保とのバランスをとりつつ、株主還元を強化。

2018年3月期まで

- ・総還元性向35%を目途
（安定的な配当の継続 + 自己株式取得）



2019年3月期から

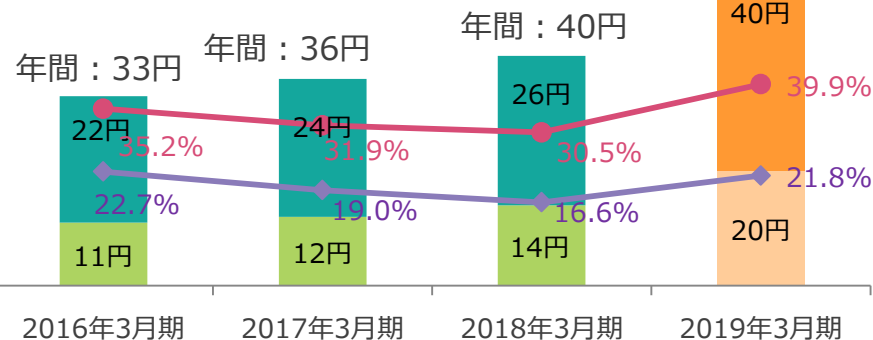
- ・総還元性向 40%を目安
- ・配当性向 30%を目安（2021年3月期）
- ・自己株式保有5%程度を上限（超過分は消却）

1株当たり年間配当金

2019年3月期計画：60円(前期比+20円)

1株当たり配当金等の推移

年間：60円
(計画)

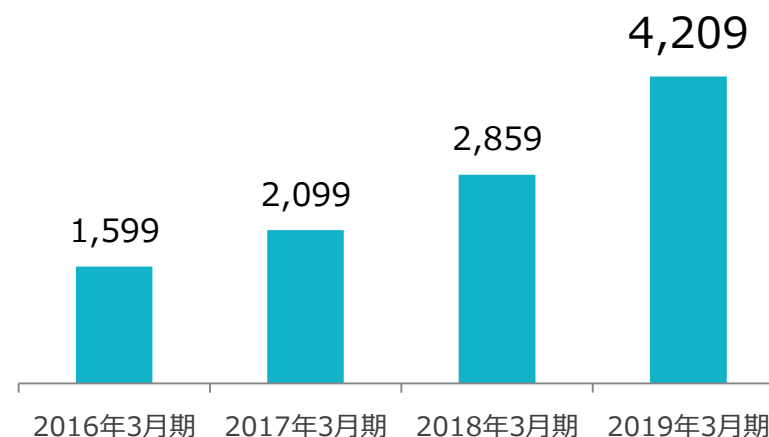


自己株式取得

総額42億円（実績）*

*2018年5月10日発表の自己株式の取得内容に基づく実績

自己株式取得総額の推移（単位：百万円）



総還元性向：純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率

2019年3月期第2四半期（累計） 業績概要

2019年3月期 業績見通し

中期経営計画（2018-2020）の進捗状況

参考資料

中期経営計画（2018-2020）の概要

Transformation to 2020

～グループ一体となり構造転換を実現し、社会の課題解決をリードする企業へ～

多様な社員が信頼・誇り・連帯感を持ち
生き生きと働いている
会社



バリューチェーン改革
による高付加価値化
(技術／社会研究成果を価値向上へ)



構造転換に向けた
成長投資額

3
年
間
で

800 億円



構造転換

により戦略ドメイン売上割合
全体の50%



売上高 **4,300** 億円

営業利益 **430** 億円

営業利益率 **10** %

ASEAN地区



トップクラス
のIT連合体へ



経営効率化により

ROE **12%**

事業活動を通じて

**環境・社会の
課題解決**



に貢献する企業へ

基本方針・重要な経営指標

<基本方針>



<重要な経営指標> (2021年3月期)

戦略ドメイン比率
50%

営業利益
430億円

営業利益率
10%

ROE
12%

2019年3月期 グループ経営方針

2019年3月期グループ経営方針

サービス型への転換に向けたスタートダッシュ

- 「スピード・柔軟性を重視した価値観・スタイル」「知識集約型の事業構造」を目指した構造転換を強力推進

新サービス創出のための積極的な先行投資

- サービス型ビジネスを成長エンジンとすべく成長・得意領域へ重点投資

強みの活きる領域での付加価値・生産性の向上

- 得意分野、重点顧客ビジネスへの集中、不採算案件撲滅、エンハンスメント革新、良好な事業環境での受注採算性改善

ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略の推進

- グローバル戦略に基づき海外パートナーと年月をかけ築いた協働を土台とした事業領域拡大・戦略的投資の発展

働きがい向上と人材マネジメント強化

- グループ成長の原動力である社員が活躍できる仕組み・風土の構築を目指し、人事本部マニフェストに基づく施策の着実な遂行

経営高度化・効率化に向けた取り組み

- 「本社系機能高度化プロジェクト“G20”」の着実な遂行と、サステナビリティ重要課題の検討・提言

第2四半期時点の進捗状況

△

- 戦略ドメイン比率は上期42%と、前期実績35%から順調に進捗。コア事業への集中進むも、中計目標達成に向けては更なる収益性向上が必要。
- 決済・ERP・ネットワーク系が牽引し、サービスITは上期計画超過。「トークンリクエスト代行サービス」等、先行投資型ビジネス立ち上げ。
- 戦略的パートナーとの関係強化によるIT投資需要の取り込み拡大。

○

- 通期0.8%目標達成に向け、上期の不採算案件は低水準に抑制。
- エンハンスメント革新等の取り組みにより、売上総利益率も改善。

○

- 追加出資・CB取得により、PT Anabatic Technologies Tbkとの関係強化。各出資先の先端技術も活用した協業スキーム構築など事業展開を加速。

△

- 社員の自己実現を重視。TIS人事本部「マニフェスト」に基づき当期予定の全28施策を順調に実施中。
- グループ全体での推進は途上、順次展開予定。

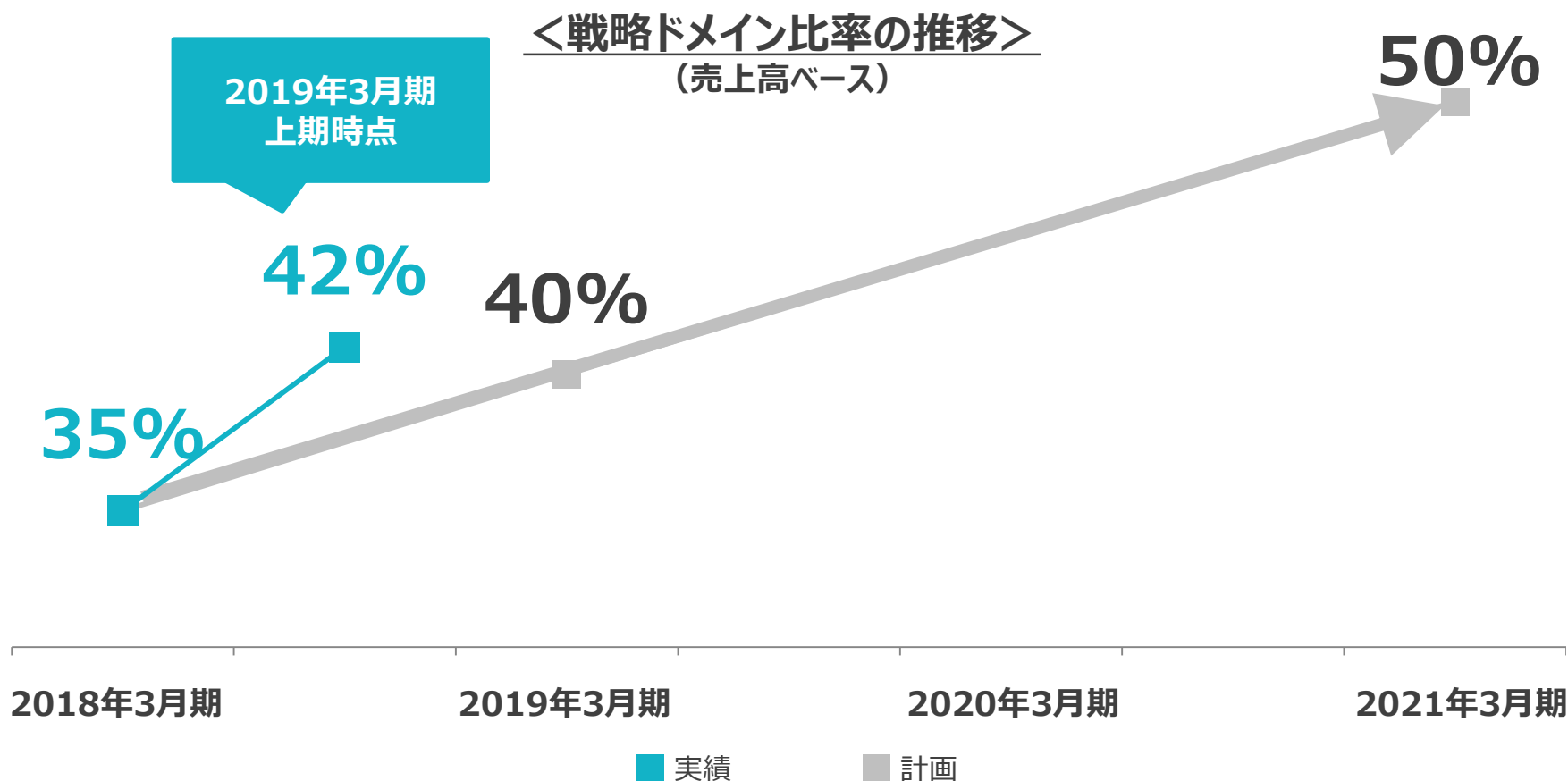
○

- 本社系機能高度化プロジェクト“G20”は計画通り進捗中。
- マテリアリティの特定等、サステナビリティに関する取り組みを推進。

中期経営計画への取り組み（トピックス）①構造転換戦略

中期経営計画（2018-2020）では、グループビジョン2026の達成に向け、スピード感ある構造転換を推進。戦略ドメインの拡充に注力。

⇒SPB・IOSの比率が向上しており進捗良好。引き続きコア事業への集中を推進。



中期経営計画への取り組み（トピックス）② 決済事業戦略

デジタルバンキングプラットフォーム構想 ～API連携で銀行をより身近な存在へ～

基本方針

- ① **トークンサービス**をベースとしたウォレットサービスを展開
- ② **マルチ決済ゲートウェイ**をベースとしたQR決済サービス等を展開(海外ブランド・国内XXXPayと接続)
- ③ デビット／プリペイドサービスに続き、**クレジットSaaS型サービス**を企画(サービス共同利用型で事業展開を予定)

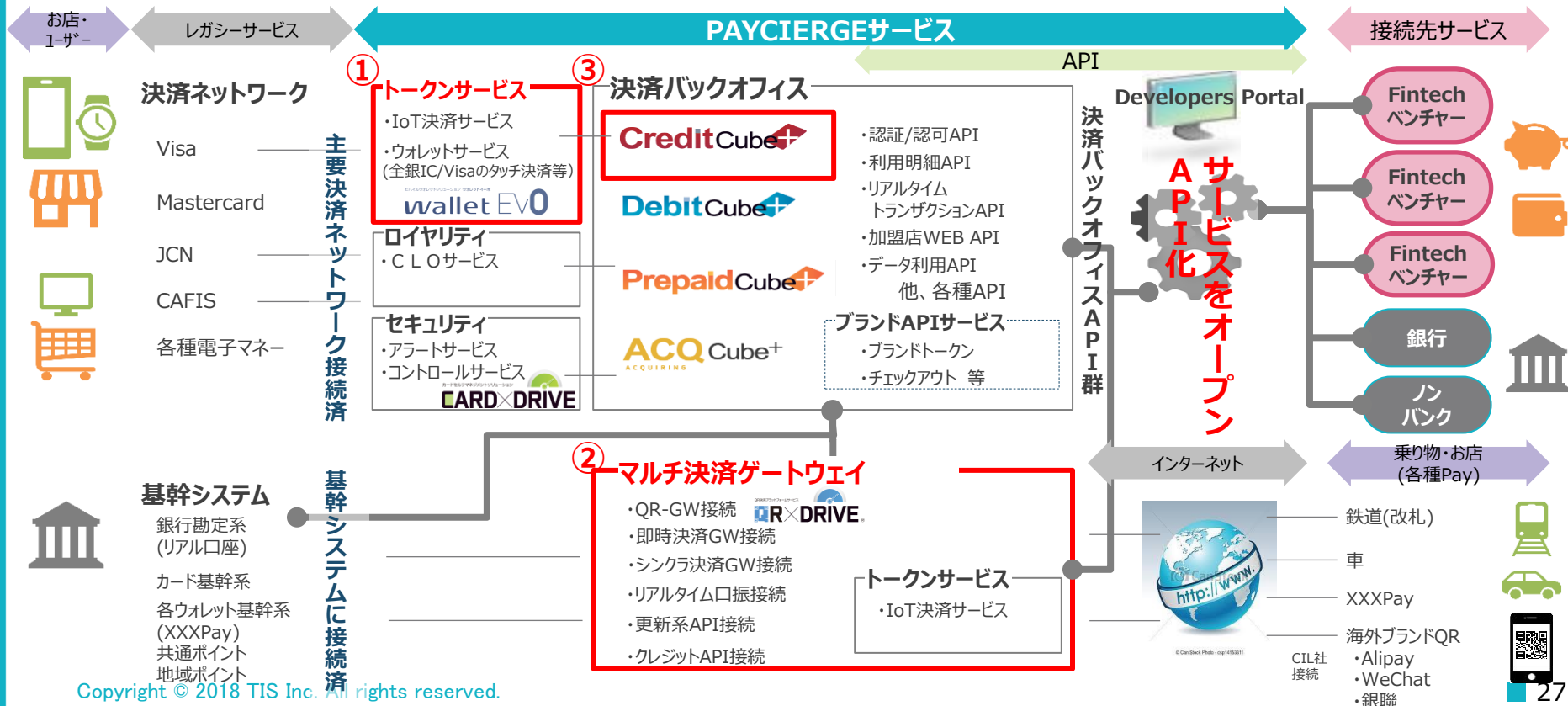
IoT決済へ！

外国人の国内決済が便利に！

APIベース！

進捗状況

- ① MUFGWallet(仮称)に採用された技術(トークン)を活かし、第1弾として株式会社三菱UFJ銀行と共同で「トークンリクエスト代行サービス」を開始。
- ② 資本業務提携先CIL社の接続先である「Alipay、WeChat、銀聯」に加え、国内外の各QRブランドと順次接続準備中。
- ③ クレジットSaaS型サービスの事業展開に向け、ファーストユーザーとなる企業との間でプロジェクトを開始する等、予定通り推進中。



参考：トークンリクエスト代行サービス

IoT時代を見据えた「トークンリクエスト代行サービス*」を、三菱UFJ銀行と共同でスタート。

*スマートフォンのみならず、ウェアラブル端末、IoT機器などの各種デバイスに決済ID情報をトークン化してセキュアに格納するサービス

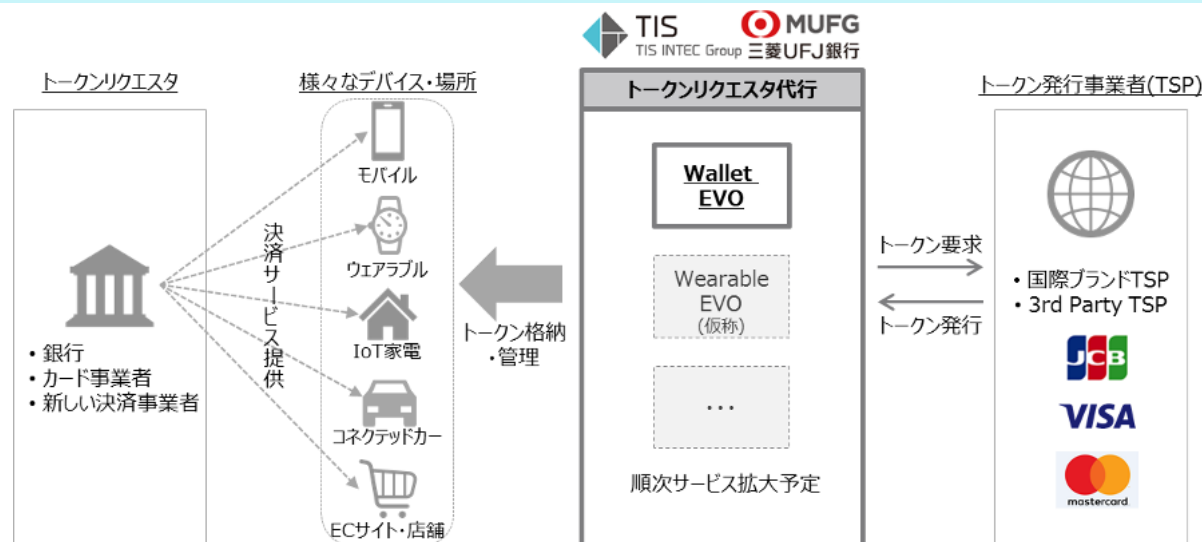
MUFG Wallet（仮称）にTISの技術を採用

- ✓ 三菱UFJ銀行が2019年春サービス開始に向けて検討を進めている「MUFG Wallet（仮称）」に、決済情報・カード情報をトークン化（暗号化）するTISのセキュアな技術を採用。

三菱UFJ銀行と共同で「トークンリクエスト代行サービス」を事業展開

- ✓ TISのペイメントIT基盤構築・運用で培われた知見と、三菱UFJ銀行のペイメント事業に係る専門性という両社の強みを活かし、モバイル・デジタルウォレット事業者（トークンリクエスト）へ提供。

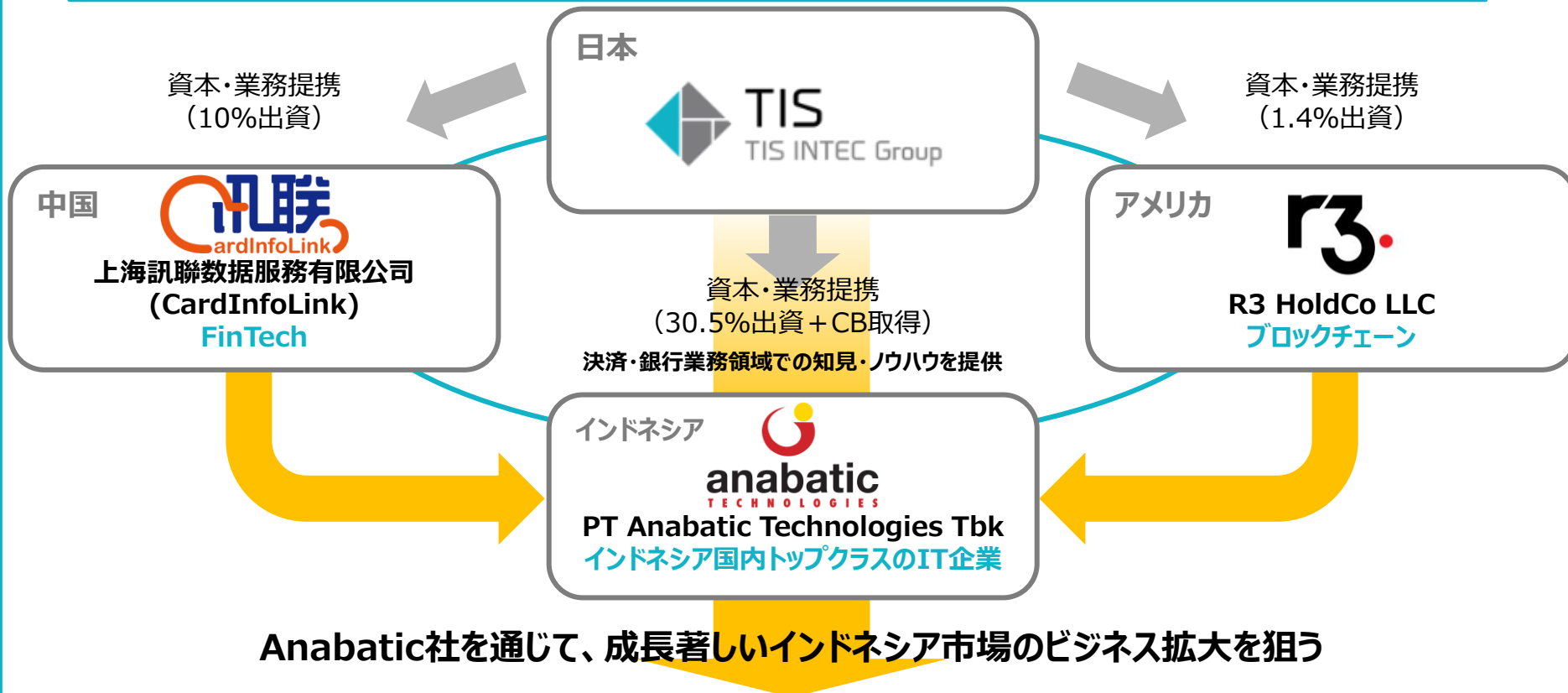
トークンリクエスト代行サービスのイメージ



⇒将来的には、様々なデバイスがインターネットに接続されたIoT社会において、決済時の安心を担保するセキュリティインフラの一端を担うことを目指す。

中期経営計画への取り組み（トピックス）③グローバル事業戦略

「ASEANトップクラスのIT企業連合体」の組成の実現に向け、顧客基盤と先端技術の融合を通じて、グローバル事業の拡大を推進。
⇒Anabatic社との協業強化、資本・業務提携した各企業との連携促進により事業展開を加速。



QRコード、ブロックチェーンなどを活用した新規事業開発等の推進を加速

銀行口座非保有者向けの新しい決済サービスの拡充

決済GW構築、インドネシアのアクライアラ獲得の推進

中期経営計画への取り組み（トピックス）④人財戦略

2021年3月期に目指す姿

自己実現サイクルの
循環による働きがい向上

グループの変革を牽引する
モデル人財の重点的な育成

グループ人財の最適配置を
実現する仕組み・制度の整備

TIS人事本部「マニフェスト」～人事本部が担う3つの使命～

「1 働きがいの高い会社を目指し、制度面・環境面を早く・強く推進します。」

「2 最適な人材配置を目指すと共に、自己実現が可能な環境を提供します。」

「3 労務関連コンプライアンスを徹底し、安全で快適な会社を作ります。」

⇒上記に沿って、「評価・処遇・報酬」「働き方改革・健康経営・ダイバーシティ」「採用・育成・配置」の3つの観点から様々な施策を定義

■ 2019年3月期の取り組み状況

評価・処遇・報酬

報酬水準引き上げ、昇格率向上、年齢に関係なく実力・意欲で勤務継続できる制度（60歳以降も処遇制度が変わらない「65歳定年制度」等）の導入。

働き方改革・健康経営 ダイバーシティ

コアタイム無しのスーパーフレックス導入、育児介護関連制度の拡大・条件緩和、テレワークを前提とした勤務制度の制定。

採用・育成・配置

業界トップクラスの1人当たり教育日数の実現、グループ変革に資する特化人材の採用・育成等を実施。今後、グループ人材ポートフォリオ定義・活用、経営層の戦略的ローテーション等の実施を検討中。

⇒当期実施予定の全28施策を順調に実施中。ベストプラクティスをグループ会社へ順次展開予定

2019年3月期第2四半期（累計） 業績概要

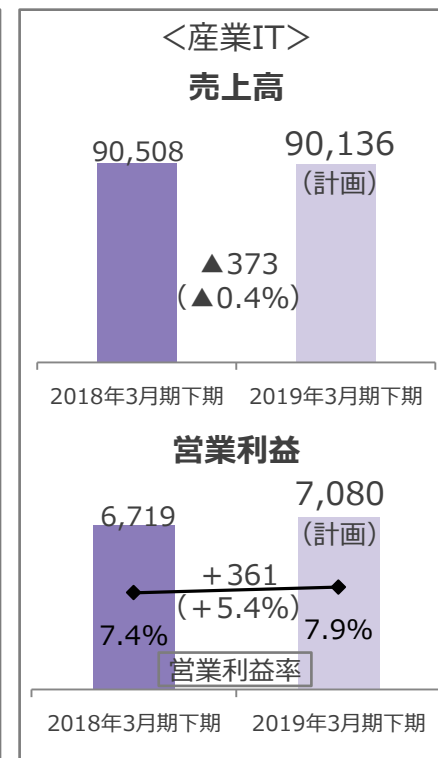
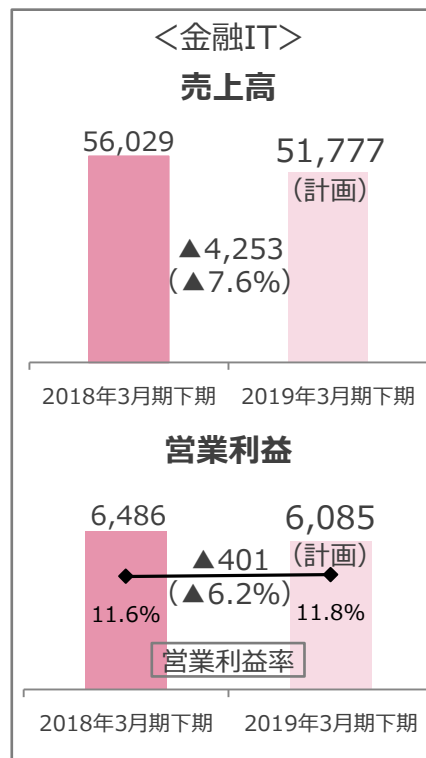
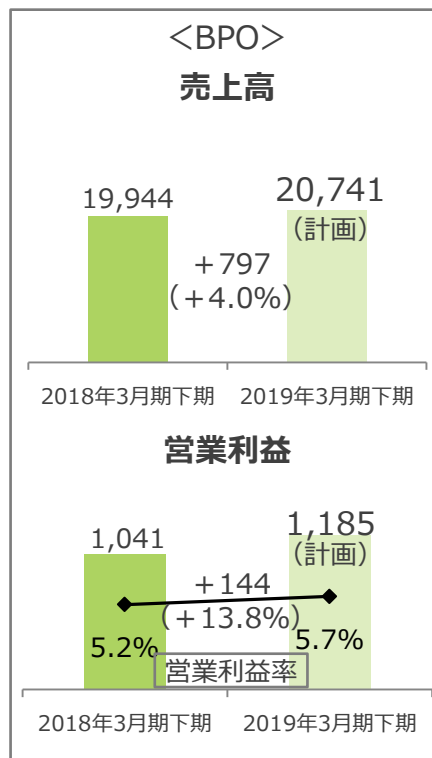
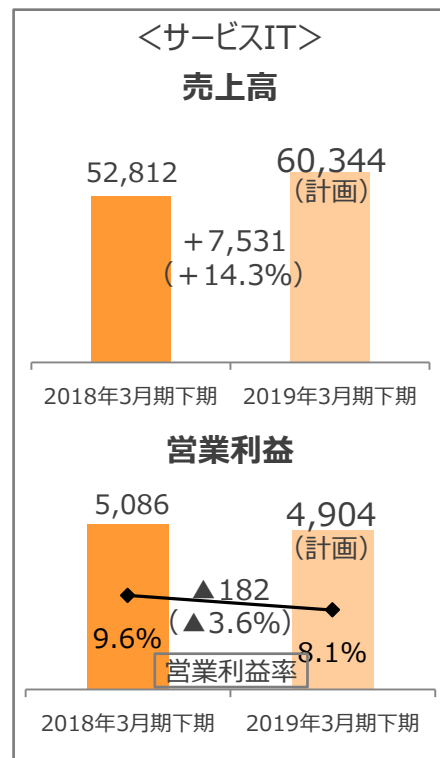
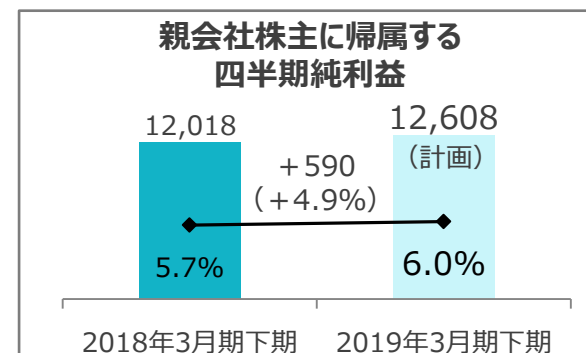
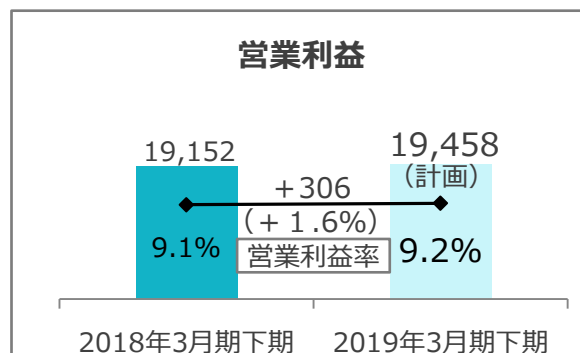
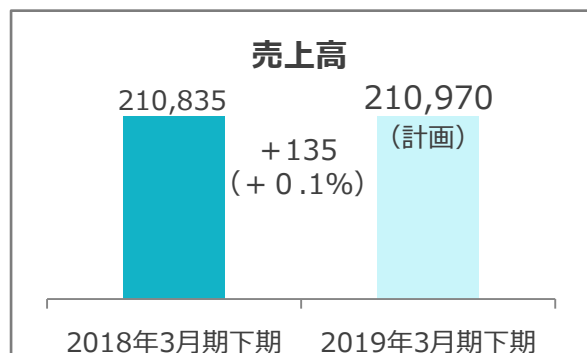
2019年3月期 業績見通し

中期経営計画（2018-2020）の進捗状況

参考資料

2019年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



下期計画は通期計画から上期実績を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

2019年3月期第2四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2018年7月2日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年7月2日	TIS、大同生命の支払査定業務でのAI活用を支援
2018年7月3日	TIS、eラーニングコンテンツサービス「学べるてすと君」に新教育コンテンツ『ダイバーシティ研修』を追加
2018年7月5日	TIS、2018年テレワーク・デイズに参加
2018年7月6日	自己株式の取得状況に関するお知らせ
2018年7月6日	TISが住宅金融支援機構の大規模レガシーシステムのオープン化を支援
2018年7月9日	TIS、新規事業創出のビジネスマッチングサイト『bit-finder』の登録受付を開始
2018年7月9日	インテックとアグレックス、AI技術を用いたOCRを共同開発、データエントリー事業やRPAへ展開
2018年7月10日	インテックのマネージド型IaaS「EINS/SPS Managed」Pure Storage社の次世代型オールフラッシュアレイを全面採用
2018年7月10日	A J S、カケンテストセンターに人事考課システム「P - T H」を導入
2018年7月11日	TIS、電話を起点に顧客とLINEでつながるクラウドサービス「ContactWare for LINE カスタマーコネクト」を提供
2018年7月12日	TIS、インドネシア上場IT企業Anabatic Technologiesとの協業強化でグローバル事業をさらに推進
2018年7月13日	TIS、『Oracle Excellence Awards 2018』でSaaS領域とHCM Cloud領域の2つのパートナーアワードを受賞
2018年7月13日	TIS、PCI DSS準拠のアプリケーション実行基盤「ROUNDAHEAD by CAP」を提供開始
2018年7月17日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2018年7月19日	アサヒ電子、TIS、プリスコが、脈波・血管年齢を算出するアルゴリズムとそのデータを収集・活用するIoTプラットフォーム/APIゲートウェイを共同開発
2018年7月20日	ネクスウェイ、働き方改革の国民運動「テレワーク・デイズ」に参加
2018年7月23日	クオリカ、鋳造業向け設計シミュレーション「JSCAST」超高速解析の新製品販売開始
2018年7月26日	TIS、SBI生命のデータベース基盤の「Oracle Database Appliance」への刷新を支援
2018年7月30日	A J S、ニューヨーク発のコワーキングスペースWeWorkに新拠点を開設し、2018年8月から本格稼働開始
2018年7月30日	ネクスウェイとサイバートラスト、マイナンバーカードによる公的個人認証サービスを活用した『オンライン本人確認サービス』を提供開始
2018年7月31日	自己株式の取得結果及び取得終了に関するお知らせ
2018年7月31日	インテック、電子帳簿保存法のスキャナ保存に対応したクラウドサービスを提供開始
2018年8月1日	TIS、「SAP S/4HANA®のりかえサービス」提供開始

2019年3月期第2四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2018年8月1日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年8月1日	クオリカ、製造業のアフターサービスを効率化する「PITT Qube」の新バージョンをリリース
2018年8月2日	食品製造の安全確保の管理手法「HACCP」対応の分野で3社協業
2018年8月3日	TIS、「エンタープライズ・クラウド運用サービス」をMicrosoft Azureにも対応
2018年8月6日	TISの業務チャットボット作成サービス「DialogPlay」がチャットサポートツール「モビエージェント」と連携
2018年8月6日	インテック、社員家族向け職場見学会「Smile Family Day」を開催
2018年8月7日	TISとクオリカ、キャッシュレス社会の実現に向けてQR決済サービス『QR×DRIVE』を共同で展開
2018年8月8日	TIS、「JPIX日経インデックス400」構成銘柄に選定
2018年8月8日	エヌジーシー、TISと協業し、DAMクラウドサービス「CLOUDAM™」を提供開始
2018年8月8日	アグレックス、コンタクトセンターの顧客対応の自動化を実現するAIチャットボット支援サービスを提供開始
2018年8月9日	TISインテックグループ、国連グローバル・コンパクトに署名
2018年8月9日	TIS、RPA製品「UiPath」のゴールドパートナーに認定
2018年8月13日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年8月20日	クオリカ、タイ・バンコクに駐在員事務所を開設
2018年8月21日	ネクスウェイ、メッセージの閲覧率向上をサポート ～業界最安値水準のSMS配信サービス『SMSLINK』をリリース～
2018年8月23日	TIS、ブロックチェーンを活用するシェアリングサービス提供スタートアップのブロックチェーンロック株式会社へ出資
2018年8月23日	ドリーム・アーツとネクスウェイ、アダストリアのリアル店舗改革の要「支店制度」を支援
2018年8月30日	ネクスウェイと日本リテールファンド投資法人、ポップアップストアの誘客効果を検証する実証実験を開始
2018年8月30日	インテック、トレンドマイクロの先進技術と高い実績を融合させたSaaS型サービスを提供開始
2018年8月31日	TIS、データマネジメントサービス「TIS MARKETING CANVAS Data Square」の提供を開始
2018年8月31日	インテック、FATF第四次審査を見据え「アンチ・マネー・ローンダリングシステム」「F ³ （エフキューブ）AML」をクラウドサービスで提供
2018年9月3日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年9月3日	ネクスウェイ、売場情報共有アプリ『売場ノート』に店舗の声をより良い売場/商品づくりに活かす仕組み化を支援する「アクションポイント機能」追加
2018年9月4日	TIS、スポーツ分野のアクセラレータプログラム「SPRING UP! for Sports」の審査結果を発表

2019年3月期第2四半期 プレスリリース/お知らせ③

発表日付	タイトル
2018年9月6日	IoT時代を見据えた「トークンリクエスト代行サービス」について
2018年9月6日	インテック、インテリジェント・モデル社と大規模バッチ向け超高速開発ツールの販売代理店契約を締結
2018年9月11日	クオリカ、鋳造シミュレーション「JSCAST」をトルコで販売開始
2018年9月11日	アグレックス、「AIビジネス推進コンソーシアム」へ加入
2018年9月12日	インテック、ロボット開発を強力にサポートする「RDBOX」評価版の無償提供を開始
2018年9月13日	TIS、国内初のクラウドRPA「BizteX cobit」を提供開始
2018年9月13日	ネオアクシス、Notesの文書閲覧権限の移行も可能なSharePoint Online向け「Notes Data Converter」を発売
2018年9月14日	TIS、AIによる映像解析プラットフォーム「SCORER」を提供する株式会社フューチャースタANDARDへ出資
2018年9月18日	インテック、タワー 1 1 1 ビルスベシャルライトアップのお知らせ
2018年9月19日	TIS、脱メインフレーム後のリノベーションメニューを拡充した『Xenlon～神龍 モダナイゼーションサービス』を提供
2018年9月20日	東和薬品とTISが合併会社を設立
2018年9月21日	TIS、AIによるテキスト解析に強みを持つFRONTEOと協業
2018年9月21日	山口フィナンシャルグループが地方銀行初の「F ³ （エフキューブ）クラウド型ローン自動審査サービス」を採用（インテック）
2018年9月25日	アグレックス、Salesforce認定講師によるトレーニングサービスを提供開始
2018年9月26日	インテック、AI音声認識活用のコールセンターシステム「CTI-One V6.1」を提供開始
2018年9月27日	特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ
2018年9月27日	インテック、大手食品メーカー ミツカングループへEDIアウトソーシングサービス「EINS/EDI-Hub Nex」を提供開始
2018年9月27日	ネクスウェイ、webブラウザからSMS配信できる『SMSLINK Webタイプ』をリリース
2018年9月28日	インテック、中国銀行に地域金融機関初の「F ³ （エフキューブ）クラウド型預り物件管理サービス」を提供



<ロゴマークに込めた思い>

新たな挑戦の場を表現する「オーシャンブルー」と、堅実さと確かな技術の裏付けを表現する「インテリジェントグレー」の2色で表現されるロゴマークには、私たちのコアコンピタンスである『IT』2文字を包含しています。グループ各社が異なるエキスパートであり、その集合体としてのTISインテックグループの一体感、そして未来へ向かって進み続ける躍動感を表現しています。

<ブランドメッセージ「Go Beyond」>

現状に満足せず、常に新たなチャレンジを求めて「その先に向かって」歩み続ける。クライアントの課題をクリアするだけでは満足せず、クライアントのさらにその先にあるお客様のニーズを先取りして、「一歩進んだ提案をしていく」という当社グループの強い意思を表明しています。

(ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
- ・2019年3月期から構造転換の推進に向けた当社マネジメント体制の変更に伴い、セグメント区分を変更しています。2018年3月期の数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。